

きたかみ No. 157 福祉だより



編集発行

社会福祉法人 北上市社会福祉協議会

〒024-0012 北上市常盤台二丁目1番63号

TEL 64-1212 FAX 64-7580

E-mail shakyou@kitakami.ne.jp

ホームページ <http://www.kitakami-shakyo.jp/>

平成28年12月8日発行(隔月発行)

この「きたかみ福祉だより」は赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。



ハウスクリーニング
☆プロジェクト



子育てサロン



岩泉町災害支援
ボランティア活動



障がい者等
リフレッシュ事業

平成28年度 事業から



障がい者
地域活動支援センター



出会いの場づくり
事業



地域福祉懇談会



主な内容

- 親子すまいるクッキング参加者募集
- 歳末たすけあい募金
- 日常生活自立支援事業
- ゆめいちば・避難者作品展覧会開催報告
- フードバンク運営事業
- ポラみみ
- information

親子すまいるクッキング

参加者募集!

- 内容**
- 春を先取り♪いちご狩り体験
 - 摘みたていちごでケーキデコレーション
 - 子育て支援事業等の情報提供



日時	平成29年1月22日(日) 10時～13時40分
場所	北上市総合福祉センター
対象者	北上市内在住の高校生以下の子を持つひとり親家庭の親子
定員	親子8組程度(先着順)
参加費	1家族500円(食材料費の一部として)
持ち物	エプロン、三角巾、手拭きタオル
申込期日	平成28年1月13日(金)までに当協議会へお申込みください。

親子すまいるハイキングを開催しました

去る11月19日(土)、ひとり親家庭ネットワーク事業「親子すまいるハイキング」を開催し、親子14組(35名)が参加しました。仙台つみの杜水族館では、いろいろな海の生き物を見学したり、イルカ&アシカのパフォーマンスを楽しみました。鐘崎かまぼこの国笹かま館では、笹かまの手焼き体験をする方、館内の展示物を見学する方、おみやげを買っ方など思い思いに過ごし、帰路につきました。

12月1日から 歳末たすけあい募金運動 が始まりました

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、全国一斉に歳末たすけあい募金運動が始まりました。
 この募金は、北上市内に住む重度心身障がい者(児)や生活が困窮している世帯など支援の必要な方々が、温かな気持ちでお正月を迎えることができるように「歳末たすけあい見舞金」としてお配りするための募金です。歳末たすけあい募金の運動期間は12月1日から12月31日の1ヶ月間で、共同募金運動の一環として実施しています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



街頭募金を実施



11月の各日、市内スーパーの店頭などにおいて赤い羽根共同募金運動街頭募金が行われました。市内30の団体に街頭募金ボランティアのご協力をいただき、呼びかけを行いました。

平成27年度は、市民の皆さまから、**3,221,025円**のご寄付をいただき、支援が必要な**336世帯**の方々に対し、民生委員を通じてお配りいたしました。ご協力、誠にありがとうございました。

安心生活のお手伝い 日常生活自立支援事業

金銭管理や福祉サービスの利用手続きなど、日常生活上の判断に不安のある方（認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など）が、地域で安心して生活できるようにお手伝いします。

- ◆預金通帳をちゃんとしまったか忘れてしまう…
- ◆計画的にお金を使いたいけど？
- ◆介護保険関係の書類がたくさんくるけど？
- ◆福祉サービスを使いたいけど？



このようなことでお困りの方は、**権利擁護センター**にご相談ください。

お問合わせ 花巻・北上地域福祉権利擁護センター
(北上市社会福祉協議会内)

成年後見制度と どう違うの？



「日常生活自立支援事業」と「成年後見制度」は似ているように思われますが、「日常生活自立支援事業」は**判断能力に不安がある方（契約できる程度）**を対象に、本人との契約に基づいて日常的な金銭管理等の援助や福祉サービスの利用援助を行うのに対し、「成年後見制度」は**判断能力が不十分な人**について、財産管理や身上監護（施設の入退所など本人の身上に関わること）に関する契約などの法律行為を援助することができます。

自分が元気なうちに、自ら後見人を選んでおく制度もあります。

こんなことでお困りの時は
成年後見制度 を利用しましょう。

- ◆認知症の父の入院費を払うために銀行へ行ったが、「本人以外は払い戻しができない」と言われた。
- ◆親が死亡し、一人暮らしになった障がい者の兄がいる。相続の手続き、不動産や預貯金をどう管理していいかわからない。
- ◆父が認知症になり、在宅福祉サービスや施設入所の契約内容が理解できない。
- ◆認知症の母は、訪問販売などで不当に高い物を繰り返し買わされてしまう。

その他さまざまな事情を抱えた方が成年後見制度を利用しています。ご心配がある方は、北上市社会福祉協議会、北上市地域包括支援センターなどにご相談ください。

北上市内避難者作品展 & 芋の子交流会開催

11月19日(土)・20日(日)の2日間、北上市総合福祉センターで、市内に暮らす震災避難者の皆さんが制作した作品を一堂に集めた「作品展」を開催しました。

作品展は、避難者の生活に潤いと希望を持ってもらおうと平成24年から始めたもので、今年で5回目の開催になります。今年は46名の方から、手芸や陶芸、書道、吊るし飾り、ちぎり絵など多彩な作品256点を出品していただきました。いずれの作品も素晴らしい出来栄で、来場者(延べ203名)を感心させていました。

また、20日には、同センターで「芋の子交流会」も開催し、56名の皆さんが参加しました。演芸鑑賞ではスコップ三味線や歌声が披露され、共催の市食生活改善推進員協議会会員が調理した二子さといも使用の芋の子汁を味わいながら、楽しい時間を過ごしました。



いきいきSHOP★

ゆめいちば 開催



9月28日(水)、29日(木)の2日間、さくら野百貨店南広場(29日は雨天のためさくら野百貨店4階)において、市内の障がい者施設で

作られている商品を障がい者と高校生と一緒に販売を行う「いきいきショップ☆ゆめいちば」を開催し、2日間で多くの市民の方に来店いただきました。高校生は事前に障がい者施設を訪問し、障がい者の方と一緒に作業を行って交流を深めており、ゆめいちば当日は役割分担をしながら協力して販売を行いました。

高校生からは「障がい者の方と一緒に作業、販売をして、理解と交流を深められた。」との感想が聞かれ、この活動を通して、障がい者、高校生、お客さんとの相互交流を図ることができました。

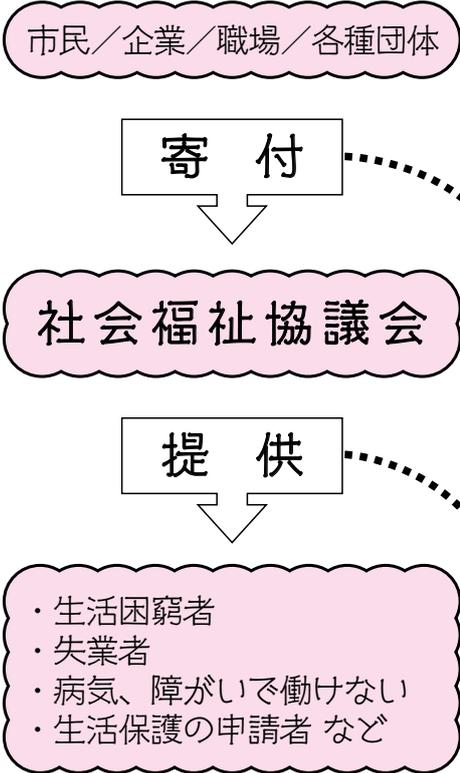
フードバンク運営事業



フードバンクとは？

「食糧銀行」を意味する社会活動です。まだ、賞味期限内で食べることができるにも関わらず、様々な理由（食べきれない、売れ残ったなど）で廃棄される食品を、個人や企業から無償で寄付していただき、食べ物の支援を必要としている方々へ無償で提供する活動です。支え合いや助け合いの地域社会づくりにもつながります。

寄付から提供までの仕組みと流れ



寄付の方法

フードバンク運営事業で提供する食品は常時募集しております。

募集している食品

- レトルト食品(カレー、親子丼、牛丼 など)
- インスタントラーメン(カップ、袋)
- 缶詰(シーチキン、魚 など)
- 瓶詰(のり、きのこなどの佃煮 など) ■お菓子類
- 調味料類 ■のり、ふりかけ、お茶漬け など
- 飲料水、粉ミルク

※大規模震災が発生した場合は、非常用備蓄食品として活用します。

受付できない食品

- 賞味期限が明記されていないもの
- 賞味期限が6ヶ月未満のもの ■常温保存できないもの
- 開封済み又は中身が破損しているもの

提供までの流れ

- ①相談をお受けします
(北上市、社会福祉協議会、地域、本人などから)
- ②詳しい聞き取りをします
- ③フードバンクから提供をします
(今後の自立に向けた方向性を確認の上、提供しています)

寄付実績

受付件数：70件
(平成28年4月～10月)

- お米 156 kg
- 乾燥めん 209 袋
- 缶詰/瓶詰他 200 缶
- レトルト 219 袋
- インスタントラーメン(カップ、袋) 326 食
- 調味料 31 個
- お茶等、飲み物系 181 個
- のり系 138 個
- お菓子 23 個 など

地域や職場などで、独自に食糧を集める運動も展開されています。

地域4ヶ所 (黒沢尻北支部、黒沢尻15区、更木支部、鬼柳支部)

職場4ヶ所 (南泉製作所、サトーホールディングス(株)、北上市役所、社協)



※この他に、コープフードバンクとの協定により、寄付を受けております。

提供実績

提供件数：90件
(平成28年4月～10月)

〔主な提供理由〕

- ・仕事を辞めたが、次の収入までの間の食べものがない。
- ・年金だけで、ギリギリの生活をしているが、思いがけない出費があり、食べ物を買うお金がない。
- ・生活保護を申請したが、決まるまでの間の食べ物がない。

〔提供を受けた方の声〕

何日が食べ物を口にできませんでした。とてもお腹がすいていたので、いただいたカップラーメンとご飯は、すぐにいただきました。



ボランティア情報

ボラみみ

ボランティア

より情報

No.44

配食サービス事業 和賀地区お弁当配送 ボランティア募集

当協議会では、北上市から委託を受けて、在宅で調理することが困難な一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯等にお昼のお弁当をお届けしています。この事業で、和賀地域の利用者にお弁当を届ける、配送ボランティアを募集します。

【活動内容】

和賀町総合福祉センターから和賀地区の利用者にお弁当を配送します。

【活動日時】

火・木・土曜日の活動可能な日。午前10時半から1時間程度。(事前にボランティアできる日をお聞きし、予定表を組んで活動します。)

【活動条件】

普通第一種運転免許を持っている方で自家用車を使用して配送できる方。

【活動費】

1回の活動につき活動費500円を支給しています。

子育て支援ボランティア 「パレット」会員募集

子育て中の母親やその家族が安心して子育てができる環境を整えるため、「少しでもお手伝いできれば」との思いで子育て支援活動を行っています。



①子育てサロン

「あそびのお部屋」運営ボランティア

毎月第3木曜日の午前10時から正午まで、北上市総合福祉センターを会場に親子が楽しく遊べる場づくりを行っています。

②託児ボランティア

研修会やイベントなど、その催事の時間(2~3時間程度)託児を行います。活動は不定期ですが、依頼があった都度活動しています。(詳細についてはお問い合わせください。)

※個人宅で託児を行うものではありません。

活動内容

資格等

活動する上で特に資格は問いません。

会の運営費として年会費1,000円を頂戴しています。

～小学生から大人まで世代を超えたボランティア活動～

「ハウスクリーニング☆プロジェクト part2」

去る11月19日(土)、黒沢尻西地区において、黒沢尻西小学校の6年生、先生・保護者、中学・高校生、黒沢尻西地区民生委員児童委員など総勢76名が高齢者や障がい者世帯15世帯を訪問し、窓拭き等の清掃ボランティア活動「ハウスクリーニング☆プロジェクト」を実施しました。また、11月23日(水・祝)、更木地区でも、更木小学校の児童、先生・保護者、中学・高校生、更木地区民生委員児童委員・福祉協力員など総勢79名が更木地区内のひとり暮らし高齢者や障がい者5世帯を訪問し、清掃活動を行いました。

出発式・オリエンテーションの後、小学生から高校生、大人がグループに分かれ訪問先へ向かいました(向かう途中、道路のゴミ拾いも行いました)。訪問先では、窓拭き等を行いながら、訪問先の高齢者や障がい者の方と交流を図り、参加者同士も世代交流を深めました。活動終了後は終了式を行い、参加者が感想発表や意見交換を行いました。参加した児童から「訪問先のお家の方が嬉しそうにっていて、こちらも嬉しくなった。」等の声が聞かれました。



黒沢尻西地区



更木地区

information

■ 特別会員名簿 (敬称略・順不同、11/30迄受付分)

当協議会の福祉活動をご支援いただいている企業、法人等をご紹介します。

- 岩手製鉄(株) ● (有)オフィス・ゆうとぴあ
- (資)金原商店 ● 大通運送(株) ● マルケイ建設(株)

■ 福祉基金 (敬称略、11/30迄受付分)

- 北上市ゴルフ協会
… 30,000 円
- 囲碁趣味の会
… 90,000 円



北上市ゴルフ協会様

囲碁趣味の会様

■ まごころ (敬称略、11/30迄受付分)

北上市社会福祉協議会へ寄付

(有)かいえんたいどうじょう
…………… 30,000 円

相去保育園…………… 米 15kg

北上民舞踊協会…………… 35,497 円

地域密着型特別養護老人ホーム浮牛の里へ寄付

匿名…………… もち米 5kg

さくらまちケアホームへ寄付

匿名…………… もち米 5kg



相去保育園様

北上市社会福祉協議会が 全国社会福祉大会で受賞

去る11月11日(金)、東京のメルパルクホールにおいて「平成28年度全国社会福祉大会」が開催されました。この大会は、厚生労働省、全国社会福祉協議会、中央共同募金会の主催で、社会福祉の発展のために功労のあった方々を表彰し、一層の社会福祉の充実を目指す機会として毎年開催されるものです。

当協議会では、子どもたちが地域の方々と一緒に高齢者や障がい者世帯を訪問し、窓ガラス清掃を行う「ハウスクリーニング☆プロジェクト」を実施しています。その取り組みが、「清掃活動で育む地域づくりと高齢者や障がい者の地域生活支援」として評価され、このたび全国社会福祉協議会会長表彰〔社会福祉協議会優良活動〕を受賞しました。



市民の皆さまの日頃の福祉活動へのご支援ご協力に感謝するとともに、今後も皆さまと一緒に北上市の福祉の推進を図ってまいります。

社協支部情報

立花支部

桜町地域では、年に6回ふれあいデイサービス「桜町ふれデイ」を開催していますが、11月10日(木)は、会場をケアハウスエスカールに移してふれデイを開催しました。ふれデイの参加者15名と、エスカールの入居者の方々とで、幸の会の踊りを鑑賞しました。参加者からは「立派な舞台で見応えがあった。」「施設の方々と一緒に見ることができ盛り上がった。」との感想が聞かれました。



ガイドヘルプ (移動支援) 利用のご案内

北上市社会福祉協議会では、屋外での移動が困難な方が外出する場合にガイドヘルパーを派遣し、移動中や目的地において移動の介護、食事の介護、代筆・代読などの支援を行っています。お申込先は北上市役所になります。利用を希望される方は下記窓口にご相談ください。



◆ **対象者**：肢体障がい、知的障がい、精神障がいの方で障害者手帳等の所持者

◆ **対象となるサービス**
金融機関での手続き、生活必需品の購入、冠婚葬祭や墓参り、レジャー、レクリエーションなど。

◆ **対象とならないサービス**
官公庁での申請手続き、通院、通勤・通学・通園、日中活動系サービス事業所への通所など通年かつ長期にわたる外出。

【相談・申込窓口】

北上市役所福祉課障がい福祉係 (電話 72-8214)

ご相談ください

～ひとりで悩んでいませんか～

なんでも心配ごと相談センター

北上市常盤台2-1-63
(北上市総合福祉センター内)

電話 **0197-64-2081** (直通)

身近な総合相談窓口として、市民の皆さまの様々な悩みについてご相談にのり、解決へのアドバイスをいたします。どこに相談したらよいかわからない、という場合も、こちらへご相談ください。

● 当広報紙内で、問い合わせ先電話番号の記載がない記事については、全て下記にお問い合わせください。

北上市社会福祉協議会 電話 64-1212

● 北上市社会福祉協議会ホームページもぜひご覧ください。

<http://www.kitakami-shakyo.jp/>

